

卒業の認定に関する方針/ディプロマ・ポリシー

理学療法学科昼間部

本学科において卒業までに身につける資質・能力は以下のとおりである。

- 1) 理学療法士の仕事に誇りをもって取り組むことができる人
- 2) 理学療法士として必要な知識・技術を身につけ、臨床で活躍できる人
- 3) 社会性を育み、チームアプローチに必要なコミュニケーション力のある人
- 4) 理学療法を包括的に考え、理学療法の発展に寄与する研究活動ができる人

理学療法学科夜間部

本学科において卒業までに身につける資質・能力は以下のとおりである。

- 1) 理学療法士の仕事に誇りをもって取り組むことができる人
- 2) 理学療法士として必要な知識・技術を身につけ、臨床で活躍できる人
- 3) 社会性を育み、チームアプローチに必要なコミュニケーション力のある人
- 4) 理学療法を包括的に考え、理学療法の発展に寄与する研究活動ができる人

作業療法学科

国家試験合格できる知識・技術の修得を基本に臨床力向上のためのより高度な知識・技術の修得を図り、加えて医療人として崇高な倫理観を備えた人材育成をはかる。

- 1) 生命の尊厳、他者への思いやりや優しさを基本に医療人としての倫理観を育成する。
- 2) 社会人として調和のとれた個性の育成を図る。
- 3) より専門的な知識・技術の修得を図る。
- 4) コミュニケーション能力を持ち、他者と協調し、自己の責任を全うできる人材の育成を図る。

看護学科

教育目標に対応させて、看護職をめざす卒業生として卒業時に身につけていることを望む姿として以下に示します。

- 1) 人間としての権利を尊重して行動できるころ豊かな人間性が身についている。
- 2) 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解ができる。
- 3) 人の健康上の援助を行うため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力が身についている。
- 4) 保健・医療・福祉を総合的に理解し、保険医療福祉チームの一員として看護の役割と責任を果たす基礎的能力が身についている。
- 5) 多様に変化していく社会情勢を認識し、国際的視野で看護ができる基礎的能力が身についている。
- 6) 看護の専門職業人として倫理観をもち、自己研鑽に努め看護を探究する態度が身についている。

介護福祉学科

- 1) こころ豊かな人間性を養い、専門職である介護福祉士として知識と技術を兼ね備えた介護プロフェッショナルとして働ける力を習得すること。
- 2) あらゆる介護場面に必要とされる円滑なコミュニケーション能力を身につけ、多職種協働によるチームアプローチの的確な記録・記述の方法を身につけること。
- 3) 他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけ、問題解決能力を養い、どのような事態に遭遇しても的確な対応ができる能力を身につけること。

デジタルソリューション学科

本学科において卒業までに身につける資質・能力は以下のとおりである。

- ①デジタルビジネスパーソンとして、ＩＴやＤＸの知識・技術を仕事に活かすことができる人。
- ②豊かな社会性と円滑なコミュニケーション能力を身につけ、チームとして仕事ができる人。
- ③地域社会、地域経済の発展に寄与することができる人。

将来を担うＩＴ・ＤＸの専門家として、自己研鑽ができる人。

情報システム学科

本学科では、卒業までに次のような資質・能力を身につけることを求めています。

- 1) IT人材やデジタルクリエイターとして、ITやDXの知識・技術を活用し、実務に応用できること。
- 2) 豊かな社会性と円滑なコミュニケーション能力を備え、チームで協働できること。
- 3) 地域社会や地域経済の発展に貢献する意識を持ち、積極的に関わること。
- 4) IT・DX分野の専門家として、常に学び続け、自己研鑽を積む姿勢を持つこと。
- 5) 課題に対して責任を持ち、主体的に解決へと取り組む姿勢を身につけること。